

## ➔ 聖霊のバプテスマによって与えられた異言

使徒 2:1 五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。:2 すると突然、天から、激しい風が吹いてくるような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。3 また、炎のような分かれた舌が現われて、ひとりひとりの上にとどまった。4 すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。:5 さて、エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、天下のあらゆる国から来て住んでいたが、:6 この物音が起こると、大ぜいの人々が集まって来た。彼らは、それぞれ自分の国のことばで弟子たちが話すのを聞いて、驚きあきれてしまった。7 彼らは驚き怪しんで言った。「どうでしょう。いま話しているこの人たちは、みなガリラヤの人ではありませんか。8 それなのに、私たちめいめいの国の国語で話すのを聞くと、いったいどうしたことでしょう。9 私たちは、パルテヤ人、メジヤ人、エラム人、またメソポタミヤ、ユダヤ、カパドキヤ、ポントとアジア、10 フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いリビヤ地方などに住む者たち、また滞在中のローマ人たちで、11 ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレテ人とアラビヤ人なのに、あの人たちが、私たちのいろいろな国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞こうとは。」12 人々はみな、驚き惑って、互いに「いったいこれはどうしたことか。」と言った。13 しかし、ほかに「彼らは甘いぶどう酒に酔っているのだ。」と言ってあざける者たちもいた。

## ➤ 聖霊が降臨された日

1. 弟子達は聖霊に満たされた 【4節】
2. 御霊が話させてくださるとおりに、他国の言葉で話しました 【5節】
3. 弟子達は外国語で神様のみわざを語った 【5～11節】
4. お酒によっているようであった 【13節】

## ➤ ペテロの証

使徒 2:16 これは、預言者ヨエルによって語られた事です。17 『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。18 その日、わたしのしもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。すると、彼らは預言する。19 また、わたしは、上は天に不思議なわざを示し、下は地にしるしを示す。それは、血と火と立ち上る煙である。20 主の大いなる輝かしい日が来る前に、太陽はやみとなり、月は血に変わる。:21 しかし、主の名を呼ぶ者は、みな救われる。』

## ➤ 聖霊のバプテスマは、父なる神様の約束：

1. 終わりの日に、神様の霊をすべての人にそそぐ
2. 息子娘は預言、青年は幻、老人は夢を見る

弟子たちが聖霊に満たされて、他国の言葉で【異言】で神様の御業を語るのには神様がさされていることです。神様の約束の成就です。神様からの賜物です

## ➤ 異言の働き

1. 神様に向かって話す
2. 自分の霊で奥義を話す
3. 自分の徳を高める；自分の信仰を建て上げる、信仰を強くする

Iコリント 14:2 異言を話す者は、人に話すのではなく、神に話すのです。というのは、だれも聞いていないのに、自分の霊で奥義を話すからです。:3 ところが預言する者は、徳を高め、勧めをなし、慰めを与えるために、人に向かって話します。:4 異言を話す者は自分の徳を高めますが、預言する者は教会の徳を高めます。

## 4. 外国語で神の真理を語る

Iコリント 14:21 律法にこう書いてあります。「『わたしは、異なった舌により、異国の人のくちびるによってこの民に語るが、彼らはなおわたしの言うことを聞き入れない。』と主は言われる。:22 それで、異言は信者のためのしるしではなく、不信者のためのしるしです。けれども、預言は不信者でなく、信者のためのしるしです。

## 5. 御心に従ったとりなしの祈り

ローマ 8:26 御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいます。 27 人間の心を探り窮める方は、御霊の思いが何かをよく知っておられます。なぜなら、御霊は、神のみこころに従って、聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。 28 神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

## 6. 神の武具の一つとしての祈り【霊的戦いの武器】

エペソ 6:11 悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身に着けなさい。12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。13 ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、いっさいを成し遂げて、堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい。

6:18 すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。

## → 異言の祈りの効果

1. 神様との個人的な関係をつくる：人に話すのではなくて、直接個人的に神様に話す、神様に向き合う
2. 霊によって、神様に祈る：頭で考えた祈り、自分の思いや考えではなくて、霊で神様に祈る
3. 自分の霊性が建て上げられる：結果として信仰が増し加わる、確信が与えられる
4. 異言の解き明かしを伴うことにより、教会の徳が高まる【I コリント 14:5】
5. 外国語としての異言：未信者の外国人が福音を聞くことができる
6. 神様の御心に従ったとりなしの祈りができる：
7. 異言の祈りにより、悪魔の策略に対抗することができる

## → 聖霊のバプテスマを受けて、異言で祈ることができるように求めましょう

- ✓ エリシャはエリヤが取り去られる前に大胆に、霊の賜物を求め続けました。あきらめないで、エリヤの後をぴったりとついていきました。人の声には耳を傾けないで、ひたすら霊の賜物の為の前に向いていました。

II 列王記 2:9 渡り終わると、エリヤはエリシャに言った。「私はあなたのために何をしようか。私があるあなたのところから取り去られる前に、求めなさい。」すると、エリシャは、「では、あなたの霊の、二つの分け前が私のものになりますように。」と言った。

2. 聖霊のバプテスマを受けたら、異言で毎日祈り続けましょう。

霊に満たされ、さらに霊性が建て上げられ、信仰が強くされ、主に仕えることができるためです。

応用：なぜ異言で祈るのでしょうか？

1. 神様は私達がこの悪の世で、神様の子として光として生きていくために、聖霊の賜物を下さいました。異言は聖霊の賜物のひとつです。
2. 神様からのおくりものは、願う人に与えられます
3. 異言で祈ることにより、霊で祈り、神様と霊で会話をして、信仰が強められます
4. とりなして祈って行くときに、神様の御業を体験することができます
5. 霊的戦いにおいて、勝利することができます。
6. 祈り求めて下さい。超自然的なクリスチャンライフへ突入することができます。